

大阪府における獣医療を提供する体制整備を図るための計画の概要

計画策定年度：令和7（2025）年度／計画期間：令和7（2025）～12（2030）年度

獣医療を取り巻く状況は、近年、著しい変化がみられる。産業動物分野における慢性疾病の顕在化、家畜伝染病の大規模発生などに対応するため、産業動物獣医師及び本府において家畜防疫に携わる獣医師の確保、養成が喫緊の課題となっている。

また、動物由来感染症や薬剤耐性菌対策など「One Health」の考え方に基づいた感染症予防、公衆衛生対策など、獣医師に求められる役割、責任は増大している。

このような状況に対処し、本府の獣医療が今後とも畜産業の健全な発達、動物の保健衛生の向上及び公衆衛生の向上に寄与していくため、農林水産省が定めた「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針（令和2年5月27日公表）」に基づき、大阪府計画を見直し、新たな計画を策定した。

One Health：ヒト、動物、環境の健康（健全性）に関する分野横断的な課題に対して、関係者が協力し、その解決に向けて取り組むこと（広報誌『厚生労働』2023年11月号）

【獣医療法（抜粋）】

（都道府県計画）

第十一条 都道府県は、基本方針に即して、農林水産省令で定めるところにより、当該都道府県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画（以下「都道府県計画」という。）を定めることができる。

【新計画の主な取組の内容】

◎施設整備

- ・家畜保健衛生所において、必要な施設・機器の整備を推進

◎獣医師の確保対策

- ・家畜保健衛生所等において、インターンシップ研修の積極的な受入
- ・全国の獣医系大学で、就職説明会などに参加、広報の実施

◎産業動物分野における相互の連携

- ・家畜保健衛生所を核とする家畜防疫体制の確立
- ・近隣府県との情報交換、研修の開催
- ・大学との相互の施設、設備の活用および講義・実習の実施
- ・産業動物獣医師、食肉衛生検査所等との情報共有、連携強化

◎研修・獣医療技術の向上

- ・産業動物、公務員、小動物それぞれ関係組織、団体との協力、獣医療の質向上

◎その他

- ・動物由来感染症、耐性菌対策など「One Health」の理念のもと推進